

### 指定管理者候補者の選定結果について

北区産業振興課所管の下記公園施設について、令和5年7月26日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	水の公園福島潟来亭、水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」、水の公園福島潟キャンプ場	区分	公募
所在地	新潟市北区前新田乙493番地 外		
施設の概要	来亭	平成9年3月に設置され、昭和30年代の民家を再現し、囲炉裏があるヨシ葺き屋根の休憩施設	
	水の駅「ビュー福島潟」	平成9年7月に設置され、6階展望ホールや映像展示室などがあり、水の公園福島潟の管理棟及び自然保護や地域文化の情報発信機能を有する施設	
	キャンプ場	平成9年7月に設置され、キャンプをとおして福島潟の自然を体感できる施設	
指定管理者申請者評価会議	委員 五十嵐 隆吉（地域コミュニティ葛塚連合 会長） 委員 斎藤 春行（新潟市北区観光協会 副会長） 委員 加藤 豊（新潟北土地改良区 理事長） 委員 吉川 夏樹（新潟大学農学部 教授） 委員 高橋 浩（高橋勲税理士事務所 税理士）		
指定管理者（候補者）	福島潟推進グループ 代表者 愛宕商事株式会社 代表取締役 高橋 克郎 住 所 新潟市中央区東堀通一番町494番地3 構成団体 アイビス技建株式会社、グリーン産業株式会社		
指定期間（予定）	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
選定理由	<p>選定にあたっては、2団体から応募があり、指定管理者申請者評価会議において事業計画書等についてプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、選定基準に基づき評価を行った。</p> <p>その後、上記評価会議における評価結果を参考に検討した結果、評価委員の評点で当該候補者が平均83.6点と他の応募者の76.0点を上回り、かつ5名の評価委員のうち4名が当該候補者を上位に採点（他1名は同点）したこと。また、提案内容では、自然保護・育成に向けた取組みに加え、自主事業として福島潟の魅力を活かした企画運営を積極的に進め、来場者数の増加を図るなど、当該候補者が総合的に優れた提案であると判断した。</p> <p>なお、候補者選定の参考とした評価会議での結果は、別表のとおりである。</p>		
現在の指定管理状況との主な変更	地元をはじめとする地域活動への積極的な参加や協力を通して地域との信頼関係を確立する。また、新たな自主事業やSNSを活用した情報発信の強化により来場者の増加と利便性の向上を図る。		
スケジュール	第1回評価会議 7月 7日 ※仕様書・選定基準・評価項目の決定 公募要項等配布 7月26日～9月20日 公募説明会 8月 8日 質問受付 8月 9日～8月18日 応募受付 8月30日～9月20日 第2回評価会議 10月16日 今後、市会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。		
所管部署（問い合わせ先）	北区産業振興課 文化・スポーツグループ TEL：025-387-1195（直通） E-mail：sangyo.n@city.niigata.lg.jp		

【参考】現指定管理期間の評価（平成31年4月～令和6年3月）

指定管理者	福島潟みらい連合
総評	良好な施設サービスの提供を継続している。施設管理が行き届き、利用者が心地よく安全に利用できる環境を整えている。施設の稼働率や利用者満足度も高く、コスト削減意識をもち経費節減に努めた管理運営を行っており、指定管理者として優良と評価する。

別表（評価結果）

選定基準・評価項目		配点	候補者	A
福島潟の「自然文化」の推進	自然文化に資する事業展開	10点	9.2点	8.8点
	市民団体との協働連携とボランティアの受け入れ等	10点	7.6点	8.4点
施設の平等利用の確保	事業理念・運営方針	5点	4.4点	4点
	事業の実施内容及び施設の管理方法	5点	4点	3.6点
施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる	本市の施策に対する理解	5点	4.2点	4点
	事業計画の具体性・実現性	5点	3.8点	4点
	予算の範囲内での適正な執行	5点	3.8点	3.8点
	入館者数等の増加の取り組み	10点	9.2点	6.8点
	要望や苦情への対応	5点	4点	3.8点
	自主事業の提案内容	10点	8.8点	6.4点
事業計画に沿った管理を安定して行う能力	経営状況の安定性・信頼性	5点	4.2点	3.8点
	従業員の雇用・労働条件	5点	4.2点	3.6点
	人材育成の取り組み	5点	4.2点	3.2点
	安全確保・災害時の対応	5点	3.8点	3.8点
	環境保護の取り組み	5点	4点	4点
	個人情報保護の取り組み・関係法令の遵守	5点	4.2点	4点
合計		100点	83.6点	76点

※点数は、評価会議の委員5名の平均

新潟市水の公園福島潟来亭、水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」、  
水の公園福島潟キャンプ場指定管理者 応募者一覧

北区産業振興課

	団体名	所在地	代表者
1	福島潟推進グループ	新潟市中央区東堀通 一番町494番地3	代表団体 愛宕商事株式会社 代表取締役 高橋 克郎  構成団体 アイビス技建株式会社 代表取締役 善宝 知子  構成団体 グリーン産業株式会社 代表取締役 荒川 義克
2	福島潟みらい連合	新潟市中央区日の出 三丁目4番15号	代表団体 ラミコジャパン株式会社 代表取締役 金子 重行  構成団体 特定非営利活動法人ねっとわーく福島潟 理事長 若尾 明弘  構成団体 株式会社新潟フジカラー 代表取締役社長 村山 利家

新潟市水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」等 指定管理者申請者 事業計画

項目	福島潟推進グループ			次点		
事業者の概要	(代表団体) 愛宕商事株式会社	(構成団体) アイビス技建株式会社	(構成団体) グリーン産業株式会社	(代表団体)	(構成団体)	(構成団体)
	設立 S56. 2. 16 資本金 6,500万円 売上高 6,407,508千円 従業員数 223人 事業内容 保険事業・教育事業・ 旅行事業・指定管理事 業・事業開発・医療福 祉事業・薬局事業・貿 易事業 施設管理実績 いくとびあ食花4施 設横越総合体育館・菱 風荘・アグリパーク・ マンガアニメ情報館	設立 S53. 9. 27 資本金 3,000万円 売上高 1,117,317千円 従業員数 98人 事業内容 建築物総合管理業 務・一般廃棄物処理 業・産業廃棄物処理 業・リサイクル事 業・総合建築業 施設管理実績 豊栄総合体育館・水 の公園福島潟遊水館	設立 S46. 3. 31 資本金 4,000万円 売上高 5,309,430千円 従業員数 407人 事業内容 造園工事・メンテナ ンス・清掃保守管理 業務・屋外体育施設 工事・法面保護工事 施設管理実績 いくとびあ食花4施 設・アグリパーク・ 城山運動公園体育施 設・西川総合体育館	設立 H6. 12. 1 資本金 5,000万円 売上高 9,273,059千円 従業員数 3,664人 事業内容 環境サービス事業・ ビル管理事業・シル バー事業・プロパテ ィマネジメント事業 施設管理実績 水の駅「ビュー福 島潟」等・航空自衛 隊新潟救難隊清掃業 務・プラーカ施設管 理業務	設立 H9. 5. 25 資本金 - 売上高 63,297千円 従業員数 37人 事業内容 福島潟自然保護活 動・水の駅「ビュー 福島潟」ショップ経 営 施設管理実績 水の駅「ビュー福 島潟」等・福島潟オニ バス池・自然学習園 の管理業務	設立 S38. 12. 2 資本金 7,200万円 売上高 2,408,777千円 従業員数 133人 事業内容 カラー写真制作、写 真用品販売・ドコモ ショップ運営・結婚 式場運営・サインデ ィスプレイ企画制作 施設管理実績 水の駅「ビュー福 島潟」等
事業理念・運営方針	<p>【事業理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行政と連携して、環境教育を更に充実させる。</li> <li>・動植物の多様性を守り、再生する。</li> <li>・文化活動を更に盛り上げ、参加する人たちの笑顔を増やす。</li> </ul> <p>【運営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然文化活動を発展させ、地域外の人たちにもその魅力を発信する。</li> <li>・地域・行政とも協力しながら、豊かな福島潟を後世に残す。</li> <li>・各施設を適正に管理運営し、利用者のサービス向上と経費削減に努める。</li> </ul>			<p>【事業理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島潟の持つ普遍的な価値を保全・育成し、潟との共生である「賢明な利用（ワイズユース）」の実践を継続する。</li> <li>・北区の観光、産業振興、情報発信拠点としての福島潟を目指す。</li> <li>・人がつどい、学び、育つ交流拠点を目指し、地域の価値向上に努める。</li> </ul> <p>【運営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者のニーズに応え、ホスピタリティの高い接遇により満足度の向上を図る。</li> <li>・地域社会などとの協働・共創により新たな地域振興を図る。</li> <li>・施設の確実な保守管理の実施に加え、災害等に対する危機管理により来訪者の安全・安心の確保を図る。</li> <li>・限られた資源を最大限有効活用するため、効率的・効果的な運営を図る。</li> <li>・福島潟の魅力を広く伝達するためには職員の働き甲斐の創出が重要であり、生き生きとした職場づくり、目的・目標を持った職場づくりを行う。</li> </ul>		
指定管理者申請の動機・意欲及び抱負等	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の持つノウハウを活用し、地域や人々の心を豊かにする。</li> </ul> <p>【意欲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護・文化の伝承と創造・観光や地域活性化に貢献し、来園者を増加</li> </ul> <p>【抱負】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な環境や生物の保全活動により水の公園福島潟の OECM 登録を目指す。</li> </ul>			<p>NPO 法人ねっとわーく福島潟は水の駅「ビュー福島潟」の開館に呼応して設立された法人で、これまで25年余り福島潟の自然や文化を保全、普及する活動を行ってきた。</p> <p>福島潟という自然財産を守り生かし未来へつなげていくことがビュー福島潟の役割であり、2期10年の経験を活かしてコーディネーターとガイドに務めたい。地域活性化など新たなニーズをとらえ、地元団体と協働し支援することが今後重要であると考えている。そのため、レンジャー業務等の指定管理業務内容を精査し、協議のうえ充実化（拡大）を図るもの、効率化（縮小）を図るものに整理統合し、職員の余剰時間を創出し、新たな活動時間を確保する。</p> <p>年間を通じて来園者が訪れるコンテンツの開発及び提供を行う。潟内では自然在来種を用いた「花のリレー」、園地では「福島潟マルシェ」の月例化や「縁日」の開催など、潟や地域の特色を生かした取り組みを推進する。</p> <p>ビュー福島潟を地域の産業振興の拠点として捉え、コロナ後のインバウンド対応など観光や食文化など、地域発の活性化対策を関係者とともに考え行動する。</p>		
事業計画 ※自主事業を含む	<p>(1) 各施設の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビュー福島潟 地元 NPO 法人や地域団体と協力し、自然文化活動を推進。</li> <li>・潟来亭 現在の事業を継続すると共に、飲料や軽食の提供を検討。</li> </ul>			<p>(1) 各施設の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容にメリハリをつけ、レンジャー職員の余剰時間を確保し、新たなニーズへの対応の強化、多様な主体との連携による地域振興の推進</li> <li>・デジタルコンテンツの活用、充実化による発信力の強化</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場 現在の事業を継続すると共に、新たなオプションを付加。</li> <li>(2) 附属事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのお客様が公平・平等に安心して来館できるサービスを提供。</li> <li>・施設の運営は、条例を遵守しつつ繁閑に応じて柔軟に実施。</li> <li>・名誉館長については、福島潟の魅力をPRできる方を検討。</li> </ul> </li> <li>(3) 自主事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・売店、コーヒーショップの運営で、地域企業・団体の活動を支援。</li> <li>・利便性と自然保護の意識が高まる自動販売機の設置・運用。</li> <li>・施設の強みを生かしたイベントを企画・運営。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 附属事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名誉館長の発信力を活用し、福島潟に興味・関心を引き起こし、一層の認知度向上と新たな客層の確保を目指す。</li> </ul> </li> <li>(3) 自主事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階の売店、3階のコーヒーショップの経営</li> <li>・自動販売機の設置</li> <li>・有料イベントの実施</li> <li>・潟カフェの出店</li> <li>・6階ホールの活用</li> <li>・潟キャンプ</li> <li>・野鳥フェス</li> </ul> </li> </ul>																																																																											
<b>サービス向上の 取組み・施設管理 の取組み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) サービス向上のための具体的な取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレームは要望ととらえ、サービスの改善に繋げる。</li> <li>・サービス水準の維持向上、変化するニーズへの対応、サービスが法令等に準じているかをチェックするため、定例の自己評価を実施。</li> <li>・自己評価の結果に加え、各分析結果や意見を検証・分析し、施設管理に反映させることで、さらなるサービスの向上、施設運営の改善。</li> </ul> </li> <li>(2) 施設管理に関する取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを把握するため、各種アンケートの実施、お客様との日常の会話による生の意見の収集に努める。</li> <li>・全施設が一体となった安全管理体制を構築。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) サービス向上のための具体的な取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の入場者増への取組み</li> <li>・健康志向（潟セラピー）</li> <li>・学校対応の強化 大人の修学旅行</li> <li>・有料イベントの実施で潟の魅力の向上</li> <li>・園地の植栽</li> </ul> </li> <li>(2) 施設管理に関する取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な施設の利用の確保（平等利用を含む）</li> <li>・適切な施設の維持管理の実施（経費節減対策を含む）</li> <li>・効果的な広報の実施（福島潟関連施設との協力体制を含む）</li> </ul> </li> </ul>																																																																											
<b>組織・人員体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、福島潟関係者、地域が一体となった管理運営体制。</li> <li>・各社事業責任者による運営会議を設置。</li> <li>・職員の雇用等については、労働基準法等の関係法令を遵守。</li> <li>・安全で快適な時間と空間を提供できるよう人材育成に取り組む。</li> <li>・質が高く、公平・平等なサービスを提供できるよう各種研修を実施。</li> <li>・年齢・性別に関係なく働きやすい職場環境を作る。</li> <li>・各種制度を利用し、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長1名（非常勤：統括、危機管理）・副館長1名（常勤：館長補佐、渉外、労務管理）・正職員7名（常勤：レンジャー、広報、一般事務）1名（非常勤：レンジャー）・臨時職員3名（臨時：受付、施設管理）・委託職員7名（臨時：清掃、潟来亭）</li> <li>・行政の管理代行者として氏名と責任を担う人材育成。</li> <li>・朝礼、終礼の重視</li> <li>・マナー研修</li> <li>・品質向上を目的とする研修</li> </ul>																																																																											
<b>安全確保及び緊急時の対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全施設が一体となった安全管理体制を構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施、危機管理マニュアルによる職員研修</li> <li>・AED教育、「普通救命講習」受講、緊急時対応訓練</li> </ul>																																																																											
<b>個人情報 の取扱い・コンプライアンス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市個人情報保護条例の周知・徹底。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護条例の遵守</li> <li>・内部規定、マニュアルの整備、遵守と職員教育の徹底</li> <li>・透明性の高い施設運営と条例を遵守した情報開示</li> </ul>																																																																											
<b>社会・地域貢献活動、 環境保護等の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民の文化活動の振興に関する提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物種リストを整備し、貴重性の再検討を行い、一般に公開。</li> <li>・福島潟で実施された活動データのデータベース化を進める。</li> <li>・地元NPOや地域団体と協力し、自然文化活動を推進。</li> <li>・個人・団体と積極的に関係を持ち、地域振興に貢献。</li> </ul> </li> <li>(2) 社会・地域貢献活動、環境保護等の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用は社会的な責任として考え、取り組む。</li> <li>・景観の維持、さらなる美化を念頭においた事業の実施と維持管理。</li> <li>・職員の環境保護への貢献の意識付けと、経費削減に寄与。</li> <li>・ムリ・ムラ・ムダのない管理運営とゴミ削減に取り組む。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市民の文化活動の振興に関する提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島潟では様々な市民団体が活動をしており、各団体へは引き続き積極的な活動支援を行う。また、市民団体との協働と連携についても助言、場所の提供、レンジャーの派遣等の協力を行う。連携支援の基本的な考え方は、活動が福島潟の魅力につながることで、福島潟の自然文化の収集、継承、発展につながることで、福島潟の生物多様性の保持につながる活動であることなどを考えている。</li> </ul> </li> <li>(2) 社会・地域貢献活動、環境保護等の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体及び地域との良好な関係作りは、日ごろから活動するパートナーとして、十分なコミュニケーションをとり対応する。</li> <li>・地元の学校の他、新潟医療福祉大や新潟大学、さらに「ねっとわーく福島潟」と以前から関係のある団体との協力連携を深め、ボランティアの受入れ環境を整備する。</li> <li>・福島潟自然文化祭では、潟で活動する機関、団体が協力して実施イベントとなっている。実施に遺漏の無いよう最大限の努力を行う。</li> </ul> </li> </ul>																																																																											
<b>収支計画</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>令和6年度</th> <th>5年間の合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【収入】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>66,100千円</td> <td>339,800千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業収入</td> <td>12,420千円</td> <td>63,455千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,520千円</td> <td>403,255千円</td> </tr> <tr> <td><b>【支出】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>31,894千円</td> <td>164,194千円</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>27,588千円</td> <td>147,338千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>3,908千円</td> <td>14,718千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,710千円</td> <td>13,550千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業経費</td> <td>12,420千円</td> <td>63,455千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,520千円</td> <td>403,255千円</td> </tr> </tbody> </table>	科目	令和6年度	5年間の合計	<b>【収入】</b>			指定管理料	66,100千円	339,800千円	自主事業収入	12,420千円	63,455千円	合計	78,520千円	403,255千円	<b>【支出】</b>			人件費	31,894千円	164,194千円	管理費	27,588千円	147,338千円	事務費	3,908千円	14,718千円	事業費	2,710千円	13,550千円	自主事業経費	12,420千円	63,455千円	合計	78,520千円	403,255千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>令和6年度</th> <th>5年間の合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【収入】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>66,100千円</td> <td>339,800千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業充当額</td> <td>250千円</td> <td>1,250千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業収入</td> <td>13,295千円</td> <td>70,425千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>79,645千円</td> <td>411,475千円</td> </tr> <tr> <td><b>【支出】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>30,335千円</td> <td>157,835千円</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>26,285千円</td> <td>131,809千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,196千円</td> <td>38,736千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,534千円</td> <td>12,670千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業経費</td> <td>12,871千円</td> <td>67,977千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>79,221千円</td> <td>409,027千円</td> </tr> </tbody> </table>	科目	令和6年度	5年間の合計	<b>【収入】</b>			指定管理料	66,100千円	339,800千円	自主事業充当額	250千円	1,250千円	自主事業収入	13,295千円	70,425千円	合計	79,645千円	411,475千円	<b>【支出】</b>			人件費	30,335千円	157,835千円	管理費	26,285千円	131,809千円	事務費	7,196千円	38,736千円	事業費	2,534千円	12,670千円	自主事業経費	12,871千円	67,977千円	合計	79,221千円	409,027千円
科目	令和6年度	5年間の合計																																																																											
<b>【収入】</b>																																																																													
指定管理料	66,100千円	339,800千円																																																																											
自主事業収入	12,420千円	63,455千円																																																																											
合計	78,520千円	403,255千円																																																																											
<b>【支出】</b>																																																																													
人件費	31,894千円	164,194千円																																																																											
管理費	27,588千円	147,338千円																																																																											
事務費	3,908千円	14,718千円																																																																											
事業費	2,710千円	13,550千円																																																																											
自主事業経費	12,420千円	63,455千円																																																																											
合計	78,520千円	403,255千円																																																																											
科目	令和6年度	5年間の合計																																																																											
<b>【収入】</b>																																																																													
指定管理料	66,100千円	339,800千円																																																																											
自主事業充当額	250千円	1,250千円																																																																											
自主事業収入	13,295千円	70,425千円																																																																											
合計	79,645千円	411,475千円																																																																											
<b>【支出】</b>																																																																													
人件費	30,335千円	157,835千円																																																																											
管理費	26,285千円	131,809千円																																																																											
事務費	7,196千円	38,736千円																																																																											
事業費	2,534千円	12,670千円																																																																											
自主事業経費	12,871千円	67,977千円																																																																											
合計	79,221千円	409,027千円																																																																											

水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」等指定管理者収支計画の比較(令和6年度分)

■収入

(単位：千円)

項目	福島潟推進グループ (選定者)	次点	<参考> 令和4年度 収支報告
新潟市からの指定管理料(委託料)	66,050	66,100	68,232
指定管理業務に伴うその他の収入	50	250	
利用料金			
自主事業収入	12,420	13,295	10,667
収入合計	78,520	79,645	78,899

■支出

(単位：千円)

項目	福島潟推進グループ (選定者)	次点	<参考> 令和4年度 収支報告
人件費	31,894	30,335	27,161
保守管理費	27,588	26,285	28,670
その他管理費	6,618	9,730	9,557
自主事業費	12,420	12,871	11,527
支出合計	78,520	79,221	76,915